



2023年3月期第3四半期 決算補足説明資料

2023年2月9日

スマート社会のその先へ 真空技術で支える豊かな未来

株式会社 昭和真空

証券コード：6384

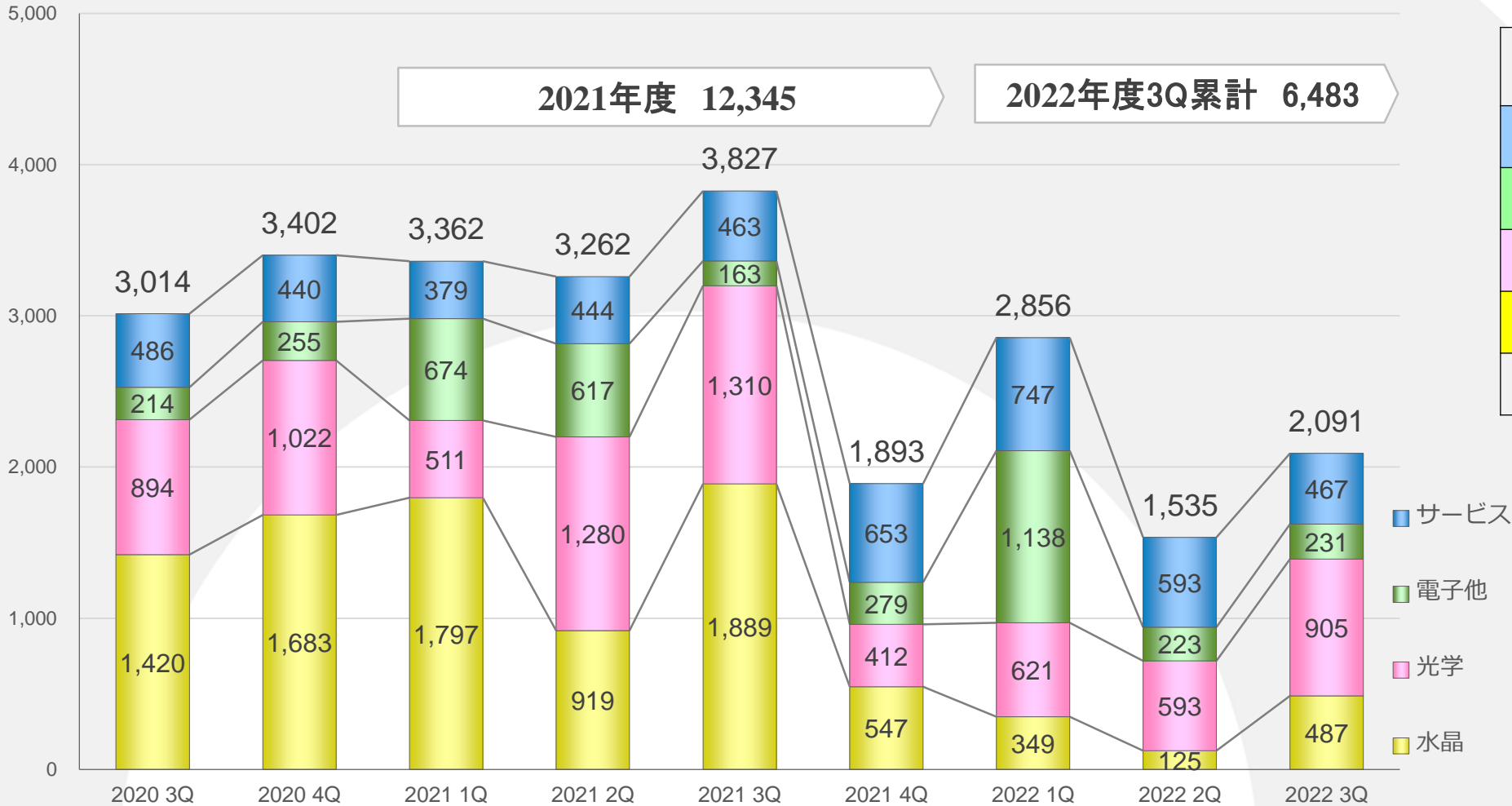
東証スタンダード

第3四半期経営成績の概況 (連結)

(百万円)	2021年度		2022年度			
	3Q累計実績		3Q累計実績		対前年同期	
	金額	百分比	金額	百分比	増減額	率
受注高	10,451	—	6,483	—	▲3,967	▲38.0%
売上高	8,331	100.0%	7,262	100.0%	▲1,068	▲12.8%
営業利益	1,105	13.3%	725	10.0%	▲379	▲34.3%
経常利益	1,119	13.4%	762	10.5%	▲357	▲32.0%
当期純利益	806	9.7%	554	7.6%	▲252	▲31.3%

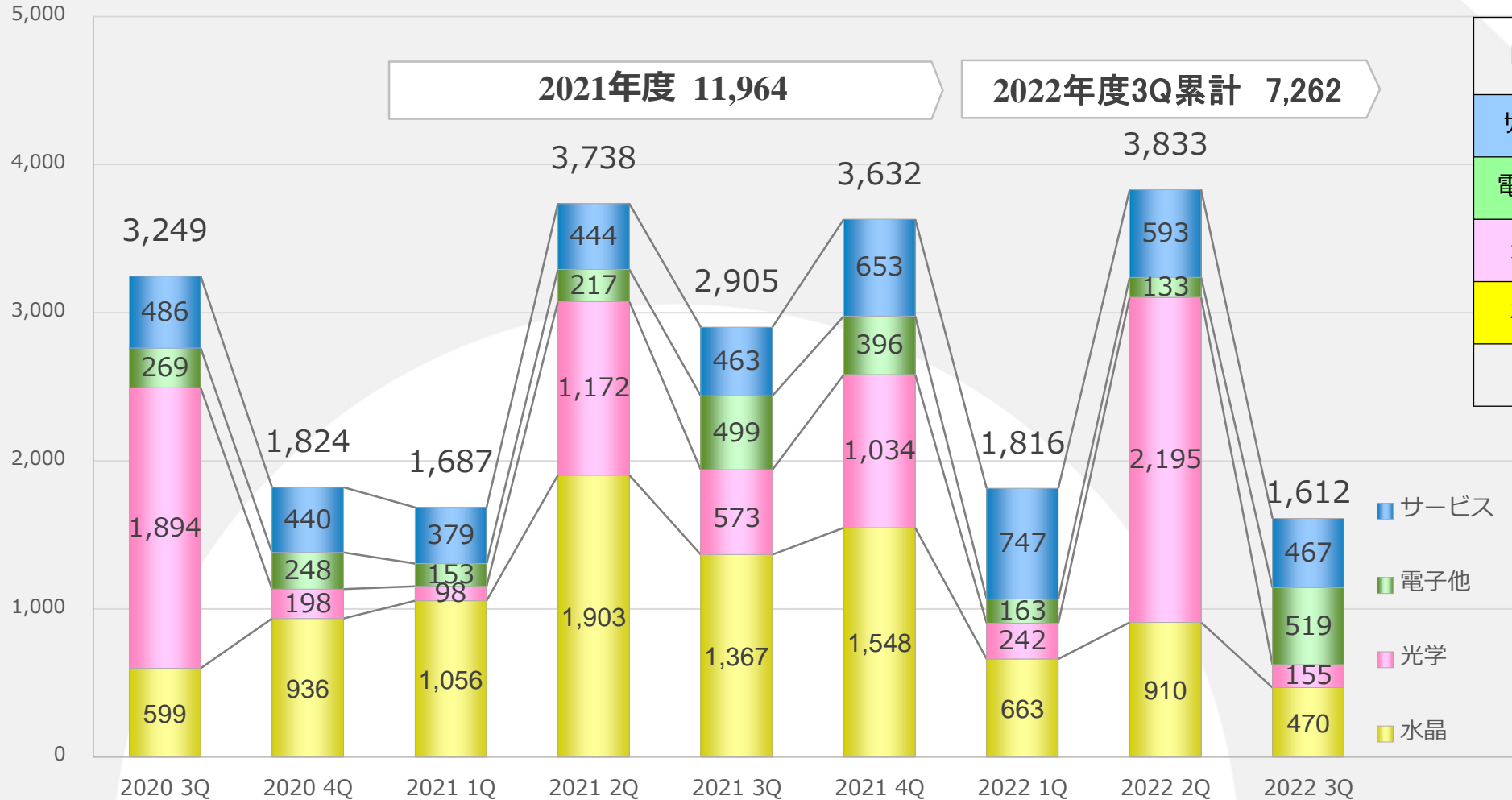
受注高業界別推移 (四半期、連結)

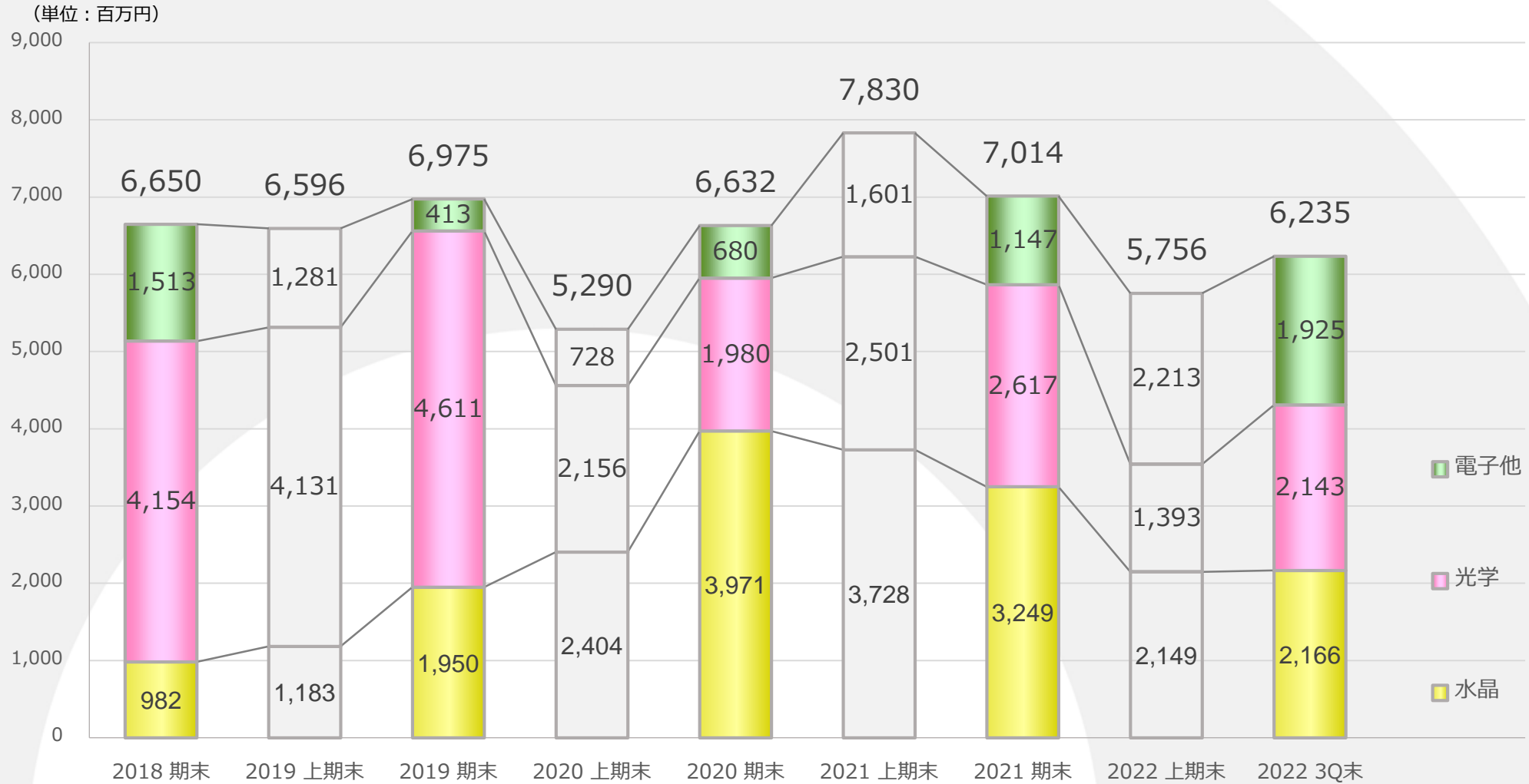
(単位：百万円)



内訳	前年同期	2022 3Q累計
サービス	1,286	1,808
電子他	1,455	1,593
光学	3,102	2,119
水晶	4,606	961
計	10,451	6,483

(単位：百万円)





1. デバイスメーカーの次世代電子部品開発への取組姿勢は継続、サンプル成膜・依頼実験に対応
2. 戦略装置の開発および市場投入に向けた取組み継続
3. スマートフォンを含めた最終製品の出荷が低調に推移し、設備投資は様子見姿勢が強まる中、以下の受注を獲得
 - 水晶業界からは、国内メーカー中心に車載関連や音叉型の水晶振動子に係る装置を受注
 - 光学業界からは、スマートフォン用高機能カメラレンズ、LED関連に係る装置を受注
 - 電子・その他業界からは、医療分野や光ファイバー関連などに係る装置を受注
4. 売上については、顧客事情（工場建設遅延、設備導入計画変更、装置仕様変更）等により第4四半期以降に納期が後倒しとなった案件が複数発生
5. 初期不良抑制、生産効率化、固定費削減に努めるも、開発要素の高い装置の売上などもあり、第3四半期のみの営業利益以下は損失計上
6. 中国では、ゼロコロナ政策緩和以降全国的に感染者急増。年末にかけて当社現地法人社員の感染も急増したが工場稼働などへの影響は一時的
7. 資機材長納期化に対し、代替品への置換え、工程調整などによる案件間振替え、予測に基づく先行発注などを継続的に実施し影響軽減

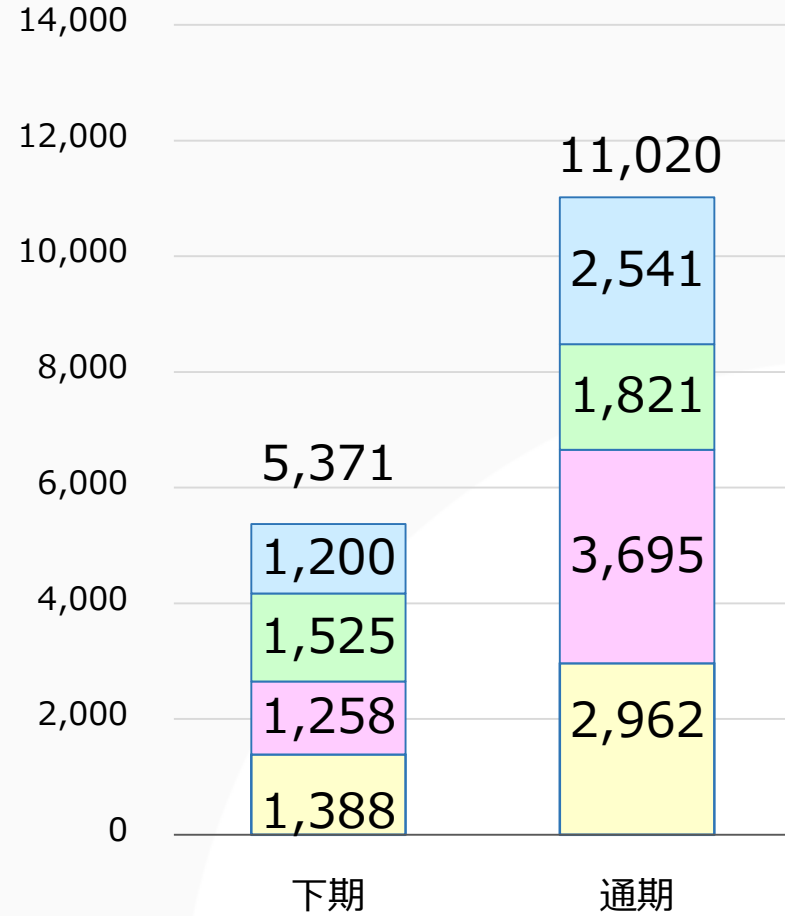
業績の見通し及び今後の展望

(百万円)				4Q 予想	通期 予想	直近開示 (11/9)
	上期 実績	3Q 実績	3Q累計 実績			
売上高	5,649	1,612	7,262	2,777	10,039	11,020
営業利益	798	▲72	725	159	885	1,169
経常利益	822	▲60	762	165	927	1,207
当期純利益	576	▲22	554	102	656	852

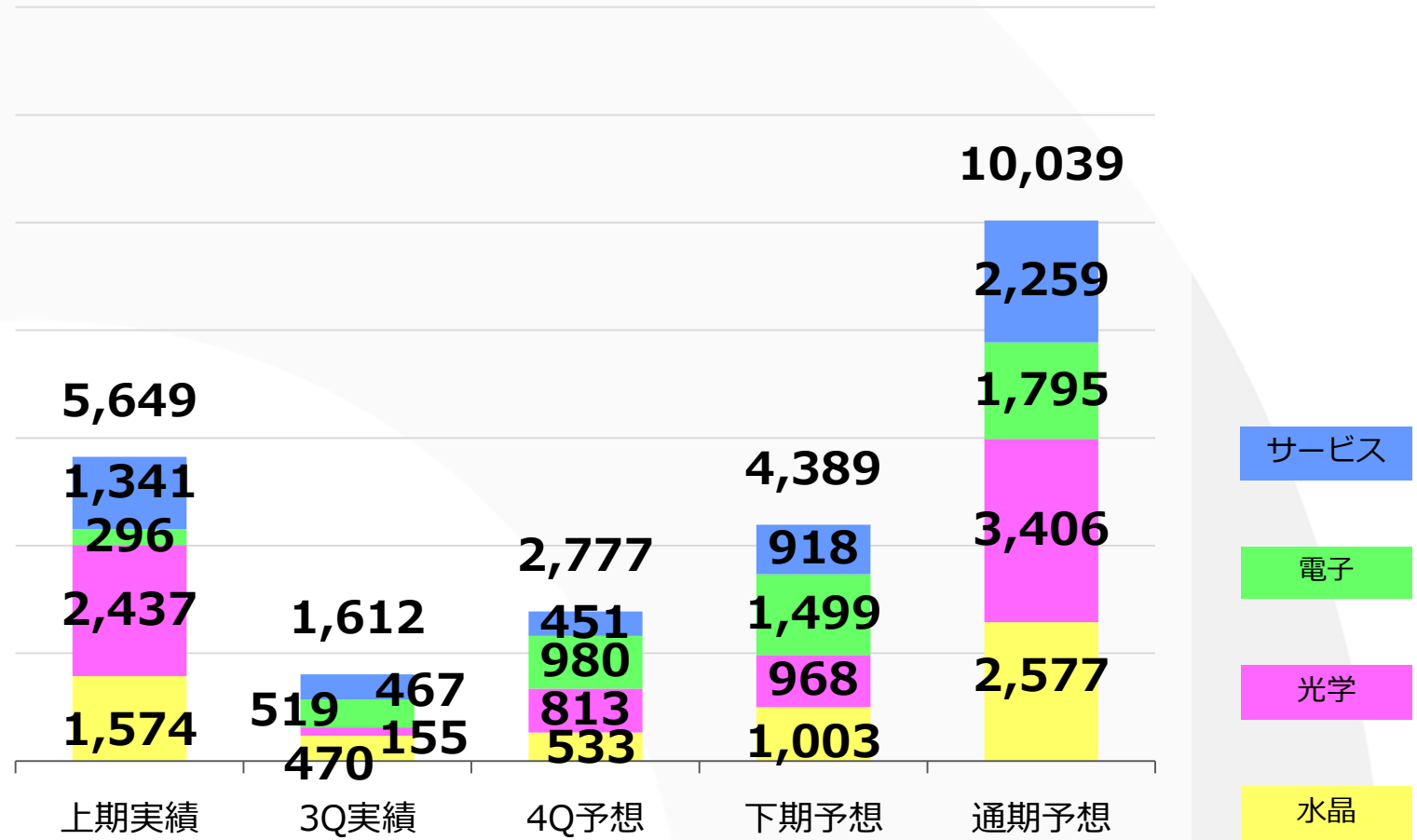
※業績予想を修正しております。

2022年度 通期売上計画 (連結)

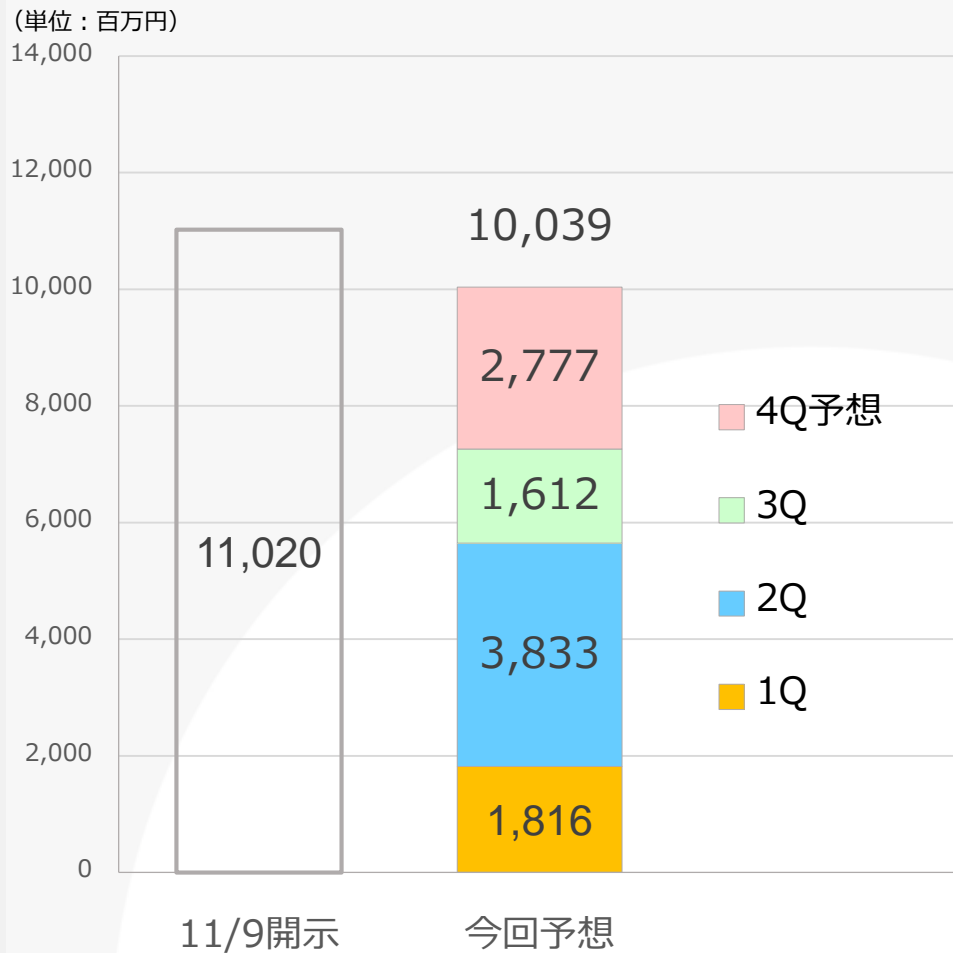
【 前回予想 (11/9開示) 】



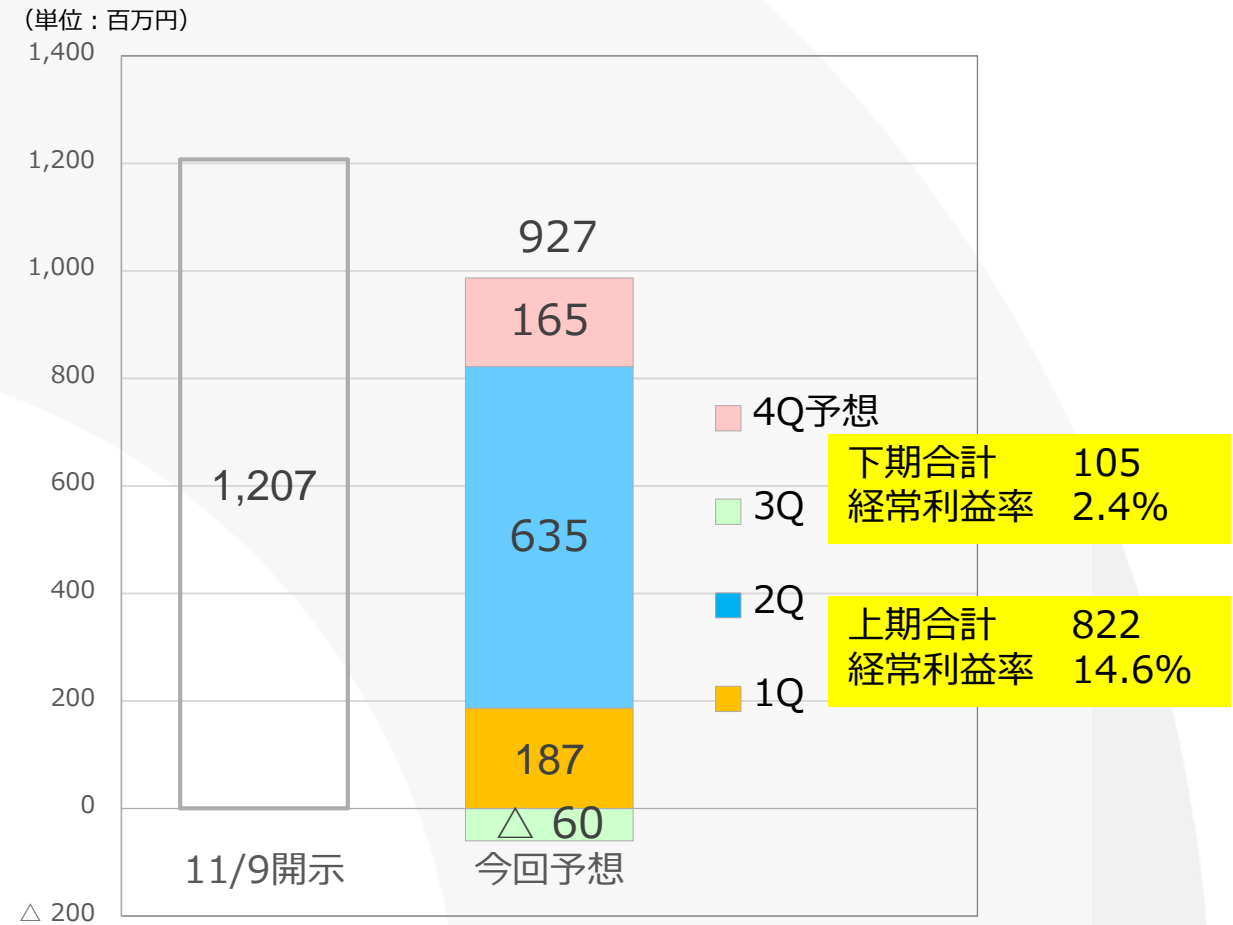
【 今回予想 】



売上高



経常利益



1. 戦略装置の開発と市場投入（各分野）
2. 顧客や大学等研究開発機関との共同開発実施と成果の実現
3. 装置標準化（仕様共通化、製造工程標準化）の進展による生産効率改善
 - ▶ 水晶・光学の主要装置から標準化
4. 品質管理体制の強化
 - ▶ 初期不具合情報などの社内連携及び品質検査体制強化
5. 海外子会社との連携強化
 - ▶ 手順書、組立ナビゲーター整備による海外生産機種種の拡充
6. 感染症への対応
 - ▶ 中国では、ゼロコロナ政策緩和により徐々にコロナ前の営業・生産体制に回帰
 - ▶ 国内では、引続き、地域社会、取引先、従業員安全確保、等（継続実施）
7. 資機材の長納期化への対応（継続実施）
 - ▶ 予測に基づく先行発注、代替品切替、柔軟な生産体制等

《注意事項》

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。

そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おき願います。



株式会社 **昭和真空**
SHOWA SHINKU CO., LTD.